

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	指令業務事業			会計	款	項目	大	小
政策	02	2節 生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	消防防災課	01	09	01	01
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防	主管課長	高市 薫	10	01		

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	消防救急無線設備	意図	消防救急無線設備の正常な稼働や維持管理を図るもの。
事業内容	指令業務を円滑に実施するために必要な消耗品及び無線設備の保守とこれに伴う消耗品を購入するもの。			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和39年4月1日常備消防を発足し業務を開始。 ・平成25年4月千葉北西部消防指令センターの運用開始に伴い、これまで設置されていた消防緊急指令設備を撤去した。 			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	① 入電から指令までの平均時間	85				↓↓↓	
	②						
	③						
	④						
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成25年4月千葉北西部消防指令センターの運用開始に伴い、入電から指令までの統計がなくなったもの。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		34,911,905	32,353,396	1,681,842			
事業費(b)(円)		2,610,905	911,896	299,989			
うち一般財源		2,610,905	911,896	299,989			
職員給与費(c)(円)		32,301,000	31,441,500	1,381,853			
人役・職員(人)		4.50	4.50	0.20			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	共同指令センターのため、記載なし	③取り組みの課題	共同指令センターのため、記載なし
②今年度(H26)に実施した取り組み	共同指令センターのため、記載なし	④今後の改善計画	共同指令センターのため、記載なし